

支援業務諮問委員会（第13回）議事概要

1. 開催月日 平成22年4月27日（火）16:00～17:00

2. 場 所 社団法人電気通信事業者協会 第2会議室
（東京都港区西新橋1-1-3 東京桜田ビル4F）

3. 出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

小椋敏勝、河村真紀子、齊藤忠夫（委員長）、地平茂一、鈴木良之、関口博正（副委員長）、
長尾毅、中川裕、弓削哲也 以上9名
（欠席 加藤薫、久保忠敏、平澤弘樹 3名）

【社団法人電気通信事業者協会】

井筒郁夫（専務理事）、岸忠信（支援業務室長）

4. 議事

（1）審議事項

・合算番号単価および番号単価の修正（案）について

（2）報告事項

平成21年度における交付金の交付及び負担金の徴収状況

平成21年度収支決算（概算）

当協会及び主要事業者に対する問い合わせ状況

委員長

ただいまから第13回支援業務諮問委員会を開催します。
まず本日の出席数について事務局からお願いいたします。

事務局

本日の出席者は9名で諮問委員会の定数が12名でございますので、過半数出席という
定足数を満たしておりますので、有効な会として成立いたします。

委員長

ありがとうございます。
次に資料の確認をお願いいたします。

事務局

お手元にお配りしております資料の確認をさせていただきます。

委員名簿、議事次第、諮問書、資料1、資料1の別紙1、資料1の別紙2、資料2、資料3、資料4、最後に前回の昨年9月15日開催の諮問委員会議事概要がございます。ご意見等ございましたら、事務局にご連絡いただければと思います。

委員長

よろしいでしょうか。

それでは、審議事項の合算番号単価及び番号単価の修正についてご審議いただきたいと
思います。資料1について事務局からご説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

委員長

ありがとうございました。ご質問・ご意見等ございますか。

番号単価はNTT東日本がちょっと高くなり、NTT西日本がちょっと安くなるの
ですね。小数点以下3桁目からですのでたいした額ではないのですが、ずっとこの
傾向なのではないでしょうか。

事務局

傾向としてはずっとこのような額となっております。

委員長

エルリックの計算では、確かNTT東日本が低くてNTT西日本が高いですね。普通
の接続費用は、西の方が島が多いなどの理由で、東日本の方が安くて西日本の方
が高いですね。

委員

2シグマの部分の補てん対象(高コスト)地域が、東日本の方が西日本と比べますと
数が多いということになります。西日本は高コスト地域であっても2シグマ以下の
ところが多いということになっております。地域的な構造の違いだと思います。

委員長

そういうことなのですね。いつも西日本の方が高いという印象があったもので……

委員

岩手県や北海道など非常に採算性の悪い極端な地域が、どちらかという東日本に多いですね。

委員長

はい、ありがとうございました。NTT東西の番号単価は法令で決められた通り忠実に算定するとこのような結果になるということですね。

合算番号単価は、法令どおりだと8.79円を四捨五入して9円になるが、今回は9円にせず8円のままということによろしいでしょうか。それでは今の審議事項については諮問のとおり了承したいと思います。事務局より答申書案をお配りいたします。

ご意見はございますか。それでは、この答申書の内容で答申させていただきます。

それから報告事項が3件ございます。主に平成21年度の実績等についてですが、3件続けて事務局よりご説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

委員長

平成21年度の状況につきましては、会計監査等を経てから確定するということですね。また徴収率が100%を超えているから翌年への繰越され、月ごとの番号数が確定してから計算するので実際には徴収額が100%以上になるということですね。

事務局

9月に番号単価を算定するときは6月末の番号数で1年間分を算定し、月別の増えた分は勘案しないので、その分は実際の徴収額として増えていきます。

委員長

電話の番号というのはアナログ固定電話がなくなっても続くのしょうから、当面このような状況は続くということですね。これが減り始めると大変なことになりますね。

その他に何かご質問・ご意見はございますか。

それでは、ご了解いただいたということで、第13回支援業務諮問委員会を終了いたします。ありがとうございました。